Lesson 211

発想する！授業

生涯にわたって
社会のいたるところで学ぶための方法序説

アクティブな“まち”って どんな“まち”？

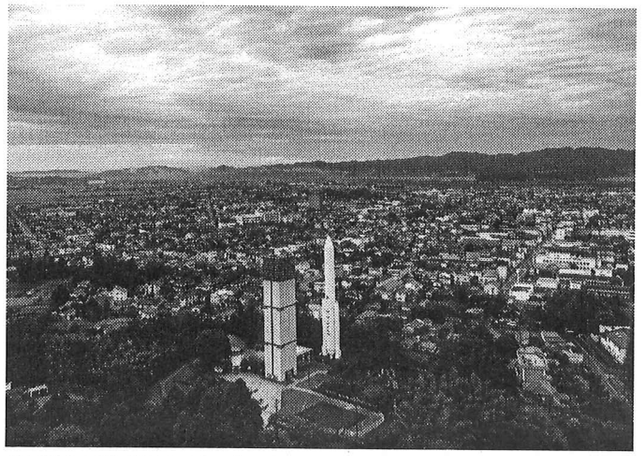
※本連載、本誌ＨＰに無料掲載中！

佐藤 克宏

提案：社会教育からアクティブな活動を応援してみませんか？

すべての人が個性や能力を活かして生き生きと輝く未来を目指して

この号がお手元に届く頃にはもう新年を迎えているということで、年初めに目標や計画を考えた方も多いのではないでしょうか。現実的なことから夢に描くようなものまで様々だと思います。私も妄想が趣味でして、現実から逃避行しすぎてしまい、結局祈ることで神様頼みになることも少なくありません。こちら宮城県角田市では初詣や伝統のどんと祭はだか参りで一年間の無病息災・家内安全・五穀豊穣を祈る行事が市内を賑わせています。



宮城県の南部に位置する角田市

さて、自己紹介が遅れました。私は宮城県の南部にある人口約2万6千人の角田市で社会教育主事として勤務しております。角田市にはＪＡＸＡ角田宇宙センターをはじめ、豊かな農地や製造業、そして歴史があります。そこで私は次世代育成事業として生涯学習にＰＢＬや探究の要素を積極的に活かした事業を担当しています。高校生の総合的な探究の時間との関わりや〝つながる地域大学〟として『かく大學』という企画を推進しているところです。そこでは、自分の興味関心や放って置けないことなどから、自分にできることを探り、主体的にアクションしてみることで得られる学びを大切にしています。その意味では、何か主催側からインプットがあるわけではなく、あくまでもインプットは参加者に委ねて、アウトプットの機会や必要な手段を通して応援させていただいています。ですので、伴走者としての視点や心理的安全性の確保など、その場の作り方にいつも試行錯誤しています。例えばデザインや会場づくり、服装、言葉選びなどです。ぜひ皆様の現場でもそのような工夫があれば教えていただきたいです。

〝アクティブ・シティかくだ〟を宣言して目指すこと

角田市のスポーツは「Ｋスポ（かくだスポーツビレッジ）と道の駅かくだを核としたスポーツによるまちづくり」としてスポまち！長官表彰２０２１に選ばれているくらい魅力的な取り組みがあります。現代社会では少子高齢化、グローバル化、多様性の尊重といったことからもＶＵＣＡ（ブーカ）の時代とも言われる変動的で不確実で複雑で曖昧な社会の中でスポーツの多様な価値が高まっています。そんな中で、角田市は令和6年2月に「アクティブシティ宣言」を予定しています。これは主体的、活動的、健康的な生き方を推進するまちということで、スポーツを普段の生活から能動的に行い、市民皆さまの幸福度を上げていくとともに、多方面への波及効果を促すことを見据え、明るく楽しく健康で活力あるまち（＝アクティブシティかくだ）の実現を目指しています。

道の駅も隣接するかくだスポーツビレッジ

現在も公益財団法人笹川スポーツ財団と連携しながら、地域スポーツ組織スポネットかくだを中心に全市民による健康づくりイベント「角田市チャレンジデー」の実施や小学校入学前の子ども達に楽しみながら体を動かす機会を提供する「かくだ版アクティブ・チャイルド・プログラム」など、いわゆる競技スポーツの枠を超えて日常的な身体活動からも能動的に心身の健康増進や生きがいに満ちた生活を実現する取り組みも行なっています。

これをお読みの皆様もスポーツというとどうしても競技スポーツを思い浮かべる方が多いのではないでしょうか？日常的な身体活動というように考えを広げれば歩くことはもちろん、洗濯やお掃除、地域での草刈りやゴミ拾いなどアクティブなことで楽しみながら様々な課題へのアプローチが期待できそうですよね。

みんながアクティブになれば色んな課題も解決できるはず

アクティブの対義にあるのは受動的、消極的という言葉ではないでしょうか。もしかしたら地域や社会に限らず、私たちの抱える多くの課題は受動的で消極的なところから始まってしまっているかもしれないと思えば、まちとして「アクティブになろう」というメッセージは未来を明るく拓くメッセージになるのではないでしょうか。皆様のまちではどのように主体的で能動的な活動を応援されていますか？

宮城県角田市教育委員会生涯学習課主査（社会教育主事）
佐藤克宏（さとう・かつひろ）
連絡先
：（syougaku@city.kakuda.lg.jp）